

令和2（2020）年度 部局マネジメント方針

たちばな しずか
副市長 立花 静



私の決意

私が副市長に就任して8年目を迎えますが、今年は新型コロナウイルスが感染拡大し、市民の皆様の生活、企業活動、学校生活などについて大きな制限と不自由さを強いられました。現在では、市民の皆様のご理解と冷静な行動と医療関係者の献身的なご努力により、徐々にではありますが、日常が取り戻されております。

しかしながら新型コロナウイルスの発生により、私たち一人一人の新しい生活様式への対応や行政の施策実行の多様化、企業の事業展開の工夫など、今までの物事の考え方や取り組み方を変えていく必要があります。市の事業の在り方も行事の開催の有無など見直さなければなりません。

そんな中で、民生保健分野の令和2年度予算におきましては、長年の課題でありました「ひきこもり対策」の相談窓口の一元化や、子どもの総合相談窓口である「子ども家庭総合支援拠点施設」の設置、石切保育所跡地に整備する「地域子育て支援センター」などの社会福祉資源の強化に努めてまいります。

また、本市の保健所では、新型コロナウイルス感染症対策の最前線で、昼夜を問わず懸命に責務を全うしております。しかし、今秋冬には新型コロナウイルスの第2波、第3波とともに、インフルエンザが同時に流行することも想定されます。今からその準備をしなければなりません。例えば、第1波での対応の総括、多様な検査への対応準備、検体検査数を増やすための検査機器の購入、感染症病床の確保、医師会をはじめ医療機関との連携、医療用物資の確保、人材（専門職）の確保などが考えられます。あらゆる危機事象に対応できるよう万全の準備を図ってまいります。

建設水道分野では、平成28年1月に大阪府戦略本部会議で事業化が決定されました「大阪モノレール南伸事業」が令和元年度に事業認可を取得しましたので、着実に進めてまいります。また、近鉄奈良線永和駅前交通広場の整備工事やJR徳庵駅に隣接する徳庵多目的広場の整備工事も着工し市民の皆様のご快適空間を確保してまいります。近年社会問題化しております水道管の老朽化対策にも計画的に取り組みを進め、公営企業としての経営改革の一環として、水道サービス事業の一部を民間企業へ委託し経営の効率化と市民の皆様へのサービスの質の向上を図ってまいります。